



学校教育目標

三根中学校に誇りを持つ生徒を育てる ～自主・自律・寛容の態度形成を通して～

第59回 体育大会

5月25日(土)、初夏の晴天の下、第59回体育大会を開催しました。全校生徒、この日のために一週間という短い練習期間にも関わらず、一生懸命に演舞や種目の練習を頑張ってきました。5月とは思えないほどの気温で熱中症の心配を何度もしましたが、生徒の自己管理とご家庭のご協力の甲斐あって、元気に当日を迎えられたことに感謝しております。



開会式では、黄団、赤団、両団長の選手宣誓の声が運動場に響き渡り、「記憶に残る」体育大会の幕が上がりました。



開会式のあとは、100m、200m、400mの徒競走等を行いました。400mはグラウンド2周します。スタートからハイペースで走る組もあれば、後半のスパートに勝負をかける組もあり、それぞれの駆け引きが面白いレースとなりました。

1年生の学年種目「台風の目」は4人一組で横

に棒を持ち、グラウンド中央にある2つのコーンをそれぞれ回って戻ってくるリレー形式の競技です。



最初は黄団が優勢だったのですが、後半になると赤団が追いつき、アンカーの組までもつれた素晴らしいレース展開でした。

2年生の学年種目「玉も積もれば山となる…！？パート2」は、両団とも数名の代表が背中に籠を背負い、グラウンドのインフィールド内を制限時間内走り回ります。各団員は逃げ回る相手代表の背中の籠に向けて玉入れの玉を投げ込み、より玉を多く入れた方の勝利というルールです。



そして、3年生の学年種目「We are」は、それぞれが所属する部活動の紹介という感じの競技です。例えば、野球部はスライディングからバットぐるぐる、そして籠の中に玉を入れて戻るといのように、それぞれの部活動の特徴を生かしたレースです。

縄跳びしたり、風船を膨らませてお尻で割ったりと、ユニークな内容の競技で見る人を楽しませてくれました。



学年別、男女別で行われた「綱とり合戦」は、インフィールドに並べられた9本の綱を自分の陣地に引き込み、より多くの綱を取った方が勝利となる競技です。どの綱を取るか、何人で取るか等の作戦とチームワークが鍵となります。



各学年学級対抗全員リレーでは、各学年とも抜きつ抜かれつのデッドヒートが繰り広げられました。バトンパスの上手さが勝敗の分かれ目となることも多く、これまでの練習の成果が表れていました。



そしてお待ちかね、団対抗ソーラン節。短い練習期間の中で3年生が下級生の指導に最も力をいれていたのがソーラン節ではないでしょうか。その成果が一致団結した演舞に表れ、見事

な一体感を感じさせてくれました。



それぞれの団で工夫を凝らした華麗な舞いと息のあった掛け声が三根中のグラウンドに響きました。



体育大会のラストは団対抗選抜リレーです。各団の健脚を競うレースは最後まで見ごたえがあり、手に汗握る素晴らしいリレーでした。

どの競技も最後まであきらめことなく懸命に挑む三根中学校の生徒の姿は見る者にとっても記憶と思い出に残る素晴らしい体育大会でした。両団の団長をはじめ、リーダー、そして全校生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。